

■県内における新型コロナの現状

現在においても、世界中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。本県内も同様で、6月末から第2波が到来したとされており、9月末現在で、430人の感染が判明しています(県内の発生状況は下記「新規感染者数」参照)。

一方で、感染された方や最前線で治療にあたる医療従事者、その家族等への偏見や差別、心無い誹謗中傷などが問題となっています。新型コロナを理由とした偏見や差別、いじめなどは決して許されません。

これからも続く新型コロナとの闘いを、“おもいやり”と“やさしさ”を持って乗り越えていくために、8月21日、県と市町が共同して「新型コロナとの闘いを乗り越えるオールとちぎ宣言」を行いました。

「とちぎびと」の皆さまにも、この宣言の思いを受け止めていただき、一緒に新型コロナとの闘いを乗り越えていきましょう。

(リンク先) 新型コロナとの闘いを乗り越えるオールとちぎ宣言

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/documents/alltochigisengen.pdf>

■米国インディアナ州と「オンラインよさこいフェスティバル」を開催

9月12日、新型コロナの影響により従来の国際交流を進めることが難しい中、本県の友好交流先である米国インディアナ州と



▲日米から多くの方にオンライン参加いただきました



▲演舞を披露するよさこいチーム「勢や」

の交流を深めるため、栃木県とインディアナ州をオンラインで結び、“よさこいフェスティバル”を開催しました。

栃木県側の会場である県庁では、鹿沼市を拠点に県内外で活躍するよさこいチーム「勢や(せいや)」が躍動感のある演舞を披露したほか、オンラインで繋がったインディアナ州や県民の方々約200人に踊り方や掛け声などを教え、最後に栃木県とインディアナ州が一体となってよさこいを踊りました。

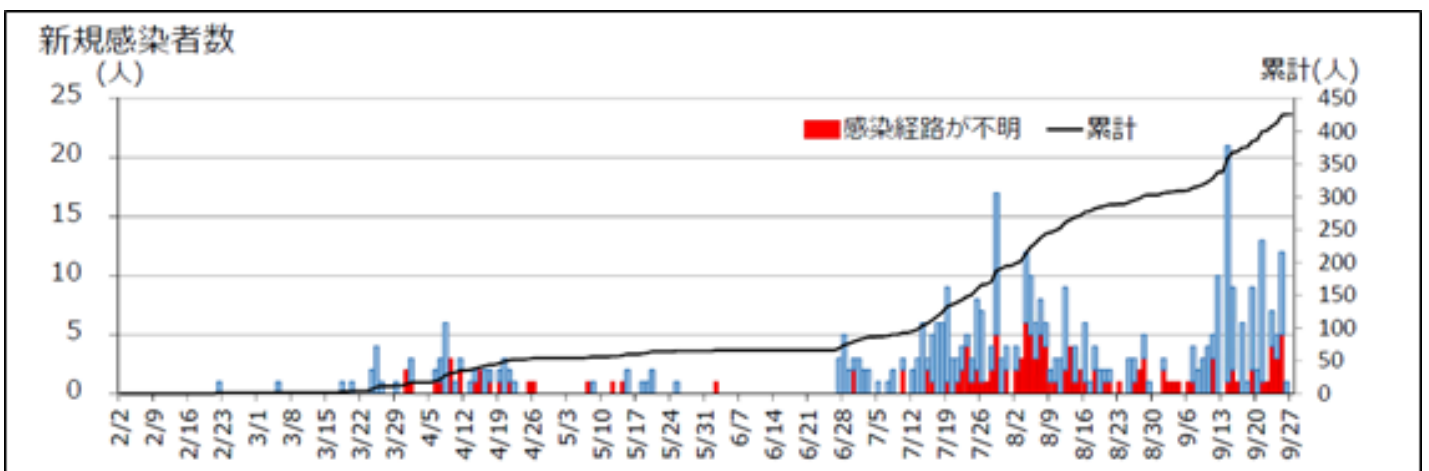
フェスティバルの開催に当たり、福田知事からインディアナ州の方々に「コロナ禍においても日本や栃木県に関心を持っていただき、遠く海を越えて交流を育んでいただいていることに感謝をする」など、友好関係がさらに深まることへの期待の言葉がありました。

「とちぎびと」の皆さまにおかれましても、withコロナ時代の新しい交流のアイデアがありましたら、ぜひ教えてください。

(リンク先) 実施したイベントを動画でご覧いただけます。

<https://youtu.be/Cw-erQvTOOI>

<https://youtu.be/fqaOOiOkApU>



■県香港事務所に鈴木駐在員が着任



10月1日、本県の唯一の海外拠点である香港事務所(ジェトロ共同事務所)に、鈴木憲典駐在員(那須烏山市出身)が着任しました。新型コロナの影響により半年遅れの着任となりました。

【略歴】2003年入庁、保健福祉部医事厚生課、教育委員会事務局総務課、県土整備部監理課等を経て、2019年から国際課配属

【着任挨拶】

栃木県香港事務所が設置されたのは1990年。早31年目を迎えました。香港返還というイベントを見守り、SARSや新型コロナなどの感染症、東日本大震災といった困難に立ち向かってきた諸先輩方に負けないよう県内企業の海外展開支援、インバウンド促進等に努めてまいります。

■英国大使館別荘記念公園

初秋になり、暑さも和らいできた今日この頃。中禅寺湖のほりにある英国大使館別荘記念公園は、アーネスト・サトウの個人別荘として明治29年(1896年)に建てられました。その後、英国大使館別荘として長年使われてきた姿に復元したものであり、豊かな自然と歴史を堪能できます。建物内部では、国際避暑地としての歴史や当時の英国文化について紹介しています。また、2階の広縁からは、中禅寺湖畔の風景を満喫できます。コロナ終息後には、ぜひ、栃木にお越しになり、優雅なひとときをお楽しみください。



とちぎフォトライブラリー～栃木の写真～

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/pref/kouhou/photolibrary/index.html>

「とちぎフォトライブラリー」では、[ウェブブック「フォトとちぎ」](#)(H22 まで広報誌「とちぎ」として発行)や県政広報紙「とちぎ県民だより」等の取材で撮影した栃木県内の写真(画像)を、多くの方に有効活用していただくため無料で提供しています。[「ご利用にあたって」](#)をお読みいただき、画像はダウンロードの上、個人で使用するほか、団体等のホームページやパンフレットなどの無償で配布する印刷物等に、ご自由にお使いください。

■フォトカテゴリー (各項目をクリックすると写真を見ることができます)

区分	内容
自然・景観	1. 山・高原 2. 川・湖沼・湿原 3. 滝 4. 橋 5. 動植物 6. 里山・田園等の風景
歴史・文化・建造物	1. 歴史的建造物 2. 社寺
観光名所・施設	1. 名所 2. 公園 3. 道の駅 4. 展示施設等
シンボル・特産品	1. 県のシンボル 2. 特産品等



世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ブラジル国サンパウロに所在する「在伯栃木県人会」の坂本アウグスト進会長に、同県人会の活動について執筆いただきました。坂本様、ありがとうございました。在伯栃木県人会の皆さまのますますのご活躍を期待しています。※皆さまからの執筆ご希望の連絡をお待ちしています！

在伯栃木県人会

会長 坂本アウグスト進

在伯栃木県人会は1959年に設立されました。現在約450人の会員はサンパウロ州を主にパラナ州、リオ・デ・ジャネイロ州、サンタ・カタリナ州、首都ブラジリアにも在住しています。

栃木会館はサンパウロ市の中心部に位置していて、学生寮もあり、地方の会員子弟の勉学に役立っています。空きがある場合、他県の学生も利用が可能で、日本の学生寮をモデルにした、門限、規則等を入寮時にしっかり納得してもらっています。30名あまりの学生若人の集団生活はお互いに仲間を尊重し合い、助け合い、おかげさまで大学入試の結果もとてもよく、会員家族にもご満足いただいています。



▲サンパウロ市の栃木会館

当会は毎年恒例のヤキソバ会を開催して、約1000食のヤキソバを販売しています。役員、婦人部、青年部、寮生が力を合わせて行うこのイベントは会員外の人達にも大変好評です。売り上げも大事ですが、準備の一致協力の雰囲気は各世代の交流の場にもなっています。

この他に県連主催の日本祭りにも毎年参加して、郷土食広場の栃木ブースで県から送っていただいた観光地や郷土色の美しいポスターやカタログ等で母県をより多く

紹介しています。また、宇都宮風の餃子、苺デザート、かんぴょう寿司、ヤキソバの販売は好評を得ています。



▲会員が力を合わせて行う「ヤキソバ会」は大好評



▲毎年約20万人が訪れる「日本祭り」で栃木県をPR

この日本祭りは海外で開催される日系行事では一番大きく、開催3日間の来場者は毎年20万人近く見られます。今は非日系人の来場者の数が日系人の数を上回っています。それだけ日本文化に興味を持つブラジル人が多いということです。

大規模な日本祭りの企画、準備には何か月も前から取り掛かる中、郷土食の準備会議には各県人会から代表者が参加、計100人以上がいつも栃木県人会のサロンで集まって話し合います。衛生管理局(COVISA)の祭りのための指導講習もこちらで行われます。当会館が地下鉄駅から近く便利な場所によるものだと思います。

地下鉄駅から徒歩4分という便利さから当会でされている書道、墨絵、折り紙、日本舞踊、日本語、長刀等の日本文化教室は参加者がいつも多く、毎日活発に利用されています。

その他に全伯日本語弁論大会が当会サロンで毎年開催されます。全国からの応募者が自分たちの勉強の成果を弁論の部門、スピーチの部門で披露します。中には顔を見ないと非日系人とわからないほどすばらしい日本語で話す人達もいます。

今年はコロナウイルス感染のため、3月の後半から当会は休館、すべてのイベントが中止となっていますので、一日も早くこの事態が終結するのを祈るばかりです。

連絡先: Associação Centro Social Tochigi do Brasil
Rua Capitao Cavalcanti 56 Vila Mariana, São Paulo CEP 04017-000 BRAZIL
e-mail: tochigikenjinkai@gmail.com